

参加費  
無料

# 古代ギリシア哲学における 人間の生と死

配信期間

2022年10月21日(金)13時  
～10月30日(日)20時

古代ギリシアは、のちの西洋文明の原点であり、現代にまで「人間」の理念を示す古典となっています。本講演では、ホメロス以来のギリシア文明が人間の生と死をどう捉え、哲学の基本にある誰もが迎える「死」にどう向き合うかについて、プラトンやエピクロスら哲学者たちが何を論じたかを考察します。彼らの言論は、不死なる神との区別で際立つ人間のあり方を明瞭に示し、今日の私たちにも大きな示唆を与えてくれます。

講師

**納富信留** 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

コメンテーター

**ギブソン松井佳子** 氏 (神田外語大学外国語学部教授)

司会

**加藤泰史** 氏 (椋山女学園大学国際コミュニケーション学部教授/一橋大学名誉教授)

プロフィールは裏面に記載

申込方法 申込締切 10月27日(木)17時

第46回椋山フォーラム申込みフォームにてお申込みください。

椋山人間学研究センターHP新着情報<https://shrc.sugiyama-u.ac.jp/news/>の「第46回椋山フォーラムを開催します。」をクリックし、申込方法をご覧ください。

申込みフォーム

視聴方法

お申込み後に、パスワードをお知らせします。

椋山人間学研究センターHP新着情報から視聴方法をご覧ください。

【問合せ先】椋山女学園 企画広報部企画課 (椋山人間学研究センター事務局) 加藤・村瀬  
〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3  
E-mail : [ningen@sugiyama-u.ac.jp](mailto:ningen@sugiyama-u.ac.jp) TEL : 052-781-4346

# 古代ギリシア哲学における 人間の生と死

## プロフィール

のうとみ のぶる

**納富信留**（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

専門は、哲学・西洋古典学。

東京大学文学部卒業、同大学院修士課程を経て、英国ケンブリッジ大学でPh.D.取得。九州大学、慶應義塾大学を経て、2016年より現職。著書は『ギリシア哲学史』（2021年、和辻哲郎文化賞）、『対話の技法』（笠間書院、2020年）、『ソフィストとは誰か？』（ちくま学芸文庫、2017年、サントリー学芸賞）など。

まつい けいこ

**ギブソン松井佳子**（神田外語大学外国語学部教授）

専門は、比較文学・アメリカ文学・ジェンダー論。

米国インディアナ大学でPh.D.取得。ノックス大学、ペンシルベニア州立大学を経て現職。近年の論考は、「野間宏文学における「弱者の生」から逆照射される「尊厳」」（『東アジアの尊厳概念』法政大学出版局、2021年）、「文学の経験表現から考究できる〈尊厳〉の諸相」（法政大学出版局、2020年）「翻訳学と脱構築のはざままで考える「社会正義」」（『〈翻訳〉のさなかにある社会正義』東京大学出版会、2018年）、「Re-examining Human Dignity in Literary Texts: In Seeking for a Continuous Dialogue Between the Conceptual and the Empirical Approaches”, Dialog: A Journal of Theology, volume 56, Number 1, 2017) など。

かとう やすし

**加藤泰史**（梶山女学園大学国際コミュニケーション学部教授/一橋大学名誉教授）

専門は、哲学・倫理学。

1985年に名古屋大学大学院文学研究科を満期退学した後、1988年4月から南山大学文学部哲学科・一橋大学大学院社会学研究科などを経て、2020年4月から現職。2020年4月から梶山人間学研究センター研究員。

最近の著作・論文等に関しては、加藤泰史他編『コロナ禍とトリアージを問う』（青弓社、2022年）、加藤泰史/後藤玲子編『尊厳と生存』（法政大学出版局、2022年）、加藤泰史編『スピノザと近代ドイツ』（岩波書店、2022年）、Kant's Concept of Dignity, De Gruyter, Berlin/Boston, 2020等。

科研費のHP「<https://kato-yasushi.sugiyama-u.ac.jp/songen/index.html>」